

令和7年度 第1回東海農政局農業農村整備等事業技術検討会

【国営かんがい排水事業 尾張西部期地区 再評価】

議事録

日 時：令和7年6月17日（火）14:50～15:50

場 所：海部土地改良区会館3階大会議室

●参加委員

野中 章久 氏（三重大学大学院生物資源学研究科 教授）

平松 研 氏（岐阜大学応用生物科学部 教授）

●東海農政局

實井農村振興部長

原地方参事官（事業計画関係）

澤田地方参事官（各省調整）

若林水利整備課長

加藤事業調整室長

●木曾川水系土地改良調査管理事務所

植田所長

石川保全整備課長

【事務局】

只今より「令和7年度第1回東海農政局農業農村整備等事業 技術検討会」を開催させていただきます。司会を務めさせていただきます、東海農政局農村振興部設計課事業調整室長の加藤と申します。よろしくお願いいたします。

お手元の配付資料の確認をさせていただきます。上から順に、議事次第、出席者名簿、配席図、資料1、資料2、資料3、資料4

以上でございます。資料の不備・不足等はございませんか。

それでは、開会に当たりまして、東海農政局農業農村整備等事業管理委員会委員長、農村振興部長の實井から御挨拶を申し上げます。

【農村振興部 實井部長】

本日は、御多忙の中、技術検討会に御出席を賜りまして誠にありがとうございます。

農林水産省では、「行政機関が行う政策の評価に関する法律」の基、「農林水産省政策評価基本計画」に基づきまして、個々の事業について、その効率性や事業実施過程の透明性の一層の向上を図る観点から、個々の事業（地区）ごとに事前、期中、完了後に評価・検証を行っています。

今回は、平成27年度に着手した国営施設機能保全事業「尾張西部地区」が、着手後10年を経過するため、事業実施中の評価に当たる「再評価」を行います。

事業評価に当たっては、専門的知見を有する委員の先生方からの多様な御意見をいただきながら、取りまとめたいと考えております。

一方で、評価結果については8月末に公表する予定となっております、タイトなスケジュールの中で御審議いただくこととなりますが、何卒御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

本日の技術検討会では、再評価資料（案）について御審議いただきます。

本事業の効果的・効率的な事業の実施のため、忌憚ない御意見を賜りますよう、お願いを申し上げます、開会のあいさつとさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

#### 【事務局】

本日は、第1回目でございますので検討会の委員長の選出、検討会の運営方法等を決めていただいた上で、再評価資料（案）について御審議いただきたいと考えております。

議事次第に戻りまして、技術検討会の委員長の選出をお願いしたいと思います。

委員長の選出は、委員の互選により決定するとなっております。

それでは、各委員から、委員長の推薦がありましたら御発言をお願いします。

#### 【野中委員】

平松委員を委員長に推薦します。

#### 【事務局】

ほかに推薦はありませんか。

#### 【事務局】

ほかに推薦がないようでございますので、各委員の御賛同がいただけるならば、野中委員から推薦がありました平松委員に委員長をお願いしたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

#### 【各委員】

異議なしです。

#### 【事務局】

それでは、平松委員に委員長をお願いいたします。

また、万一、委員長が参加できない場合の職務を代行する委員を、平松委員長に指名させていただきます。平松委員長、よろしくお願いいたします。

#### 【平松委員長】

野中委員を指名します。

#### 【野中委員】

承知いたしました。

**【事務局】**

それでは、野中委員におかれましては、万一、平松委員長が参加できない場合には代行をお願いいたします。

**【事務局】**

続きまして、議事に入りたいと思います。

議事の進行につきましては、平松委員長をお願いいたします。

**【平松委員長】**

委員長を務めさせていただきます、平松と申します。よろしくお願いいたします。

冒頭少し挨拶ということで、昨今のコメの価格の話をしたと思います。先日スーパーへ行き、ふとコメの値段を見ると5キロ5千円を超えていました。少し前だと私はコメの値段を聞いてもピンとこなかったかも知れないのですが、最近報道でコメのことを見聞きする機会も多く、なるほどコメの価格が高くなっているなと理解することができました。JAがコメを止めているのではないか、卸業者のところで止まっているのではないか、あるいは小売りが止めているのではないかと、いろいろな話が出てきて、さらには統計がおかしいという話まで出てきました。本日、排水機場の写真が入ったトランプを頂きましたので、トランプに例えると、まさに枚数の足りないトランプで七並べをしているような、誰が止めているのか分からない、そのような状況になっているように感じます。実際の金額は5千円がいいのか3千円がいいのかわかりませんが、また、価格のことは野中委員に後で指摘されるかもしれませんが、今日見学させていただいたアグリ：サポートさんのようにやる気のある、しっかりとした農業法人のような方々が健全な競争をして価格を決めていけるような形になっていけばいいのではないかと考えています。そして、やる気のある農業法人や農家の方を支援していくことが土地改良事業の役割だと考えております。アグリ：サポートさんも用排水がしっかりしていることで、安定した営農をすることができると仰っておられましたが、頑張っていこうと思っているところを支援していく、そうしたバックアップ体制を整えていかねばならないと感じたところです。この委員会の評価を通じて、その一翼を担えればと考えています。本日は排水機場の事業ということで、直接的に営農と繋がるものではありませんが、大きく見ると農業を支援していく排水機場でございますので、委員の方には忌憚のない御意見をお伺いできればと思います。

それでは、議事に入っていきたいと思います。議事の円滑な進行のために、皆さまの御協力をお願いします。それでは、議事次第に沿って進めたいと思います。議事の「①技術検討会の運営」について事務局から、説明をお願いします。

**【事務局】**

技術検討会の運営に関して、透明性を確保する観点から会議は公開とさせていただいておりますが、「議事録の公開」及び「議事録を公開する場合の発言者名の明記」につきまして、取扱いを決定していただくようお願いします。

**【平松委員長】**

只今、説明がありました内容について、各委員から意見ををお願いします。

意見がないようでございますので、委員長としては、透明性の確保の観点から、「議事録は公開」とし、「発言者名を明記」とするという方針で行きたいと考えますがいかがでしょうか。

**【野中委員】**

異議ありません。

**【平松委員長】**

それでは、今後の運営はそうに行っていくことで、事務局は対応をお願いします。

**【事務局】**

ありがとうございました。

なお、本日の議事の概要につきましては、東海農政局のwebサイトにおいて公開を行うことを予定しております。

また、詳細な議事録につきましては、事務局で作成後、各委員に御確認いただき、その後、今回の資料と合わせて公開したいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

**【平松委員長】**

続きまして、議事の「②尾張西部地区の再評価について」事務局から、説明をお願いします。

**【木曾調 石川保全整備課長】**

(資料に基づき説明)

**【平松委員長】**

御説明ありがとうございました。それでは「質疑応答」に移りたいと思います。只今の御説明を踏まえまして、各委員から御意見、御質問等ございましたら、お願いしたいと思います。いかがでしょうか。

**【野中委員】**

御説明ありがとうございます。今の説明の中で出てこなかったものとして、伝統野菜の生産状況について教えてください。どの地域で、どのような野菜が生産されているのか教えてください。

**【木曾調 石川保全整備課長】**

お手元の資料の6ページになります。愛知県の伝統野菜は37品目ございます。北の方からほうれんそう、ねぎが作られています。それから、愛知早生ふきというのがございます。愛知県のふきは、全国で1位や2位となる生産量を誇ってしまして、こちらでも6戸の農家さんがやっていることを聞いております。西に行きますと、土田かぼちゃ、宮重大根というのがございます。こ

ちらは、スタートが35品目だった愛知の伝統野菜で、後から追加されたものなのですが、清須市さんが大変力を入れておられて、学校給食にも積極的に使い、生産を促すようなこともなさって一生懸命取り組んでいらっしゃる。それから治郎丸ほうれんそうは全般的に作っているということは調べております。餅菜は、愛知県のお雑煮などに入れる地元の伝統野菜ですが、JAさんも愛知県さんも市町村さんも流通を把握しておらず、その時期になると一部農家で餅菜を作って、直売所に持ってこられたり、地元のスーパーが仕入れているなど、そういった需要があると聞いています。

#### 【野中委員】

ありがとうございます。経済の側面としてコメントさせていただきますと、今、給料が上がらないので、余裕のある消費にならないということはあるのですが、このエリアの消費者の余裕ができてくると、例えば、かぼちゃだったら普通のかぼちゃでいいや、というところから、こだわりのかぼちゃ、地域の伝統のかぼちゃが食べたい、みたいなどころに向かう傾向が強くなると思います。そういう意味では現状、作っていただいているというのは非常に重要なことで、遺伝子源としても、それを作るノウハウも重要です。見ると特に海拔の低いところでもいっぱい作っておられるのでこの辺の効果も期待できるなというところは感じました。

特に、一旦こういうのは失われてしまうと、復興は難しかったりしますし、伝統野菜ですと、京野菜が別格のように言われますけれども、他の地域ではないのかっていったら、非常に大きいポテンシャル、地域資源として非常に重要なので、そういうところを守るということだと思えます。数字的な評価では、あまり評価は出ないのかもしれませんが、未来の話として非常に重要なことだと思えました。

#### 【平松委員長】

私から1つ質問させていただきたいと思います。

やはり目に付くのは総事業費80億が121億となり、自然増がだいぶ大きくなっているなというところですが、自然増の中で特に何が大きくなっているのかというところを御説明いただければと思います。

#### 【木曾調 石川保全整備課長】

自然増の中でも金額が大きいものは、コロナ禍での電子機器部品や、ウクライナ戦争によるレアメタルといった流通の停滞の問題で伝送機器が集まりにくく、値段が上がったりしています。特に電線ケーブル業界の特殊な事情なのですが、電線の大手さんが、売れないものは作らないため一極集中していく、という選択をしていて、ケーブル業界全体が揺れたことが3年ほど前にあり、品薄になって値段が上がったり、在庫が無くなったりということがありました。主に電子機器部品といったものが高騰しているところです。

#### 【平松委員長】

今回の次の時には新しいポンプへの更新や、新しい方法での調達をしなければいけないということもあるかも知れませんね。

【木曾調 石川保全整備課長】

そうかも知れません。

あと既設の設備に合わせた部品調達となると、部品がこれじゃなきゃいけないという限定的になるので、新しい方法や更新であれば状況は異なるかも知れないです。

【平松委員長】

よくわかりました。ありがとうございました。

【平松委員長】

もう一つ、よく排水機場の更新の時に、計画の排水計画ではどれくらい排出できて、それがどれくらい低下してきてというような数値が結構出てきます。今回は故障というかトラブルが多く増えたということで更新しなきゃいけない、直していかないといけないというのはよく分かるのですが、量としてはどの程度低下しているのかというのは分かりますか。

【木曾調 石川保全整備課長】

排水量としては落ちていません。例えば運転する際に、警告灯が付かないということがあります。そういったことは監視操作室と機側でも操作できるので、これまで機側で対応してきたところですが。排水機能が低下しているというよりは施設の機械が劣化している、経年劣化しているところがこの事業で整備しているところです。

【平松委員長】

排水機的能力としては余裕があると考えていいですか。

【木曾調 石川保全整備課長】

余裕というか、今のままで大丈夫ということです。

【平松委員長】

他にございませんでしょうか。

【事務局】

本日欠席の大野委員、武田委員には事前説明をいたしまして、その際に御意見を頂いておりますので御紹介いたします。大野委員からは、御自身が平成12年の東海豪雨の時に被災された経験から、こういう排水事業は地域に必要なもので、非常に重要であるという御意見を伺っております。

武田委員からは、尾張西部地区は海拔ゼロメートル地帯が大半で、常時から支川の排水路から常時排水を行って最終的には日光川河口排水機場から海側へ排出する、こういう排水施設があることで地域が成り立っているとこのことに理解が進むとよい、という御意見を伺っております。以上です。

**【平松委員長】**

ありがとうございました。 それでは、議事の「③その他」について、事務局から御説明をお願いします。

**【事務局】**

今後の事務手続きとして、再評価の結果をとりまとめるにあたり、関係行政機関等から意見聴取を行います。その意見も踏まえ、第2回技術検討会を、7月中旬に予定しています。詳細は後日、案内いたしますので、よろしく願いいたします。

**【平松委員長】**

ありがとうございました。 それでは、本日の議事はこれで終わりましたので、進行を事務局にお返しします。皆さま、御協力、ありがとうございました。

**【事務局】**

平松委員長、ありがとうございました。 それでは、閉会に当たりまして、東海農政局地方参事官の原から御挨拶を申し上げます。

**【農村振興部 原参事官】**

それでは、閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

委員の皆様におかれましては、大変御多忙の中、技術検討会に御出席を賜り、誠にありがとうございました。

また、大変短い時間でありましたが、現地を見て、地元営農者と意見交換していただきました。その後の技術検討会においては、いろいろな角度から貴重な御意見をいただき感謝申し上げます。農政局といたしましては、今回の審議の中で賜りました御意見を踏まえ、再評価を進めてまいりたいと考えております。

引き続き、農業農村整備事業の推進について、御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、閉会の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

**【事務局】**

皆さま、長時間にわたる御審議、ありがとうございました。 これをもちまして、第1回技術検討会を閉会いたします。

(終了)